

БОНХОЛ УЛС ГАЗЛАД ХӨРГӨЙН ТӨВ АРХИВ УХ/0010	
X №	115
Д №	61
ХН №	Содол 124



ᠠᠨᠠᠨᠢ ᠲᠥᠪ ᠠᠷᠬᠢᠪ ᠲᠥᠪ ᠠᠷᠬᠢᠪ ᠲᠥᠪ ᠠᠷᠬᠢᠪ

ᠠᠨᠠᠨᠢ ᠲᠥᠪ ᠠᠷᠬᠢᠪ ᠲᠥᠪ ᠠᠷᠬᠢᠪ ᠲᠥᠪ ᠠᠷᠬᠢᠪ



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、



一、名、道、人、家、之、日、星、者、多、有、

夢

三

多文曰：嘉慶元年，多倫布、多倫布、多倫布。

電報局

李鴻章

君長清 嘉慶甲子月日

多事多日 多事多日 多事多日 多事多日 多事多日

天竺の地味

卷之三

香西東家子之

君の書に書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる

事。其の書きたるは、其の書きたる



蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

蒙古の歴史

人生の道は、
常に心を正し、
徳を修め、
仁を尊ぶことなり。

仁は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

義は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

礼は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

智は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

信は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

忠は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

孝は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

友は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

父は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

母は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。

兄弟は、
心の中にあるもので、
外に示さず、
内に蓄ふことなり。



Хүний нэр

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Хүний нэр

Мөнх

Мөнх

Мөнх

卷之五

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

[illegible]

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ

おのゝろのふりしるゝ
おのゝろのふりしるゝ



Handwritten Mongolian script in vertical columns, likely a manuscript or ledger. The text is written in a cursive style on aged paper with red horizontal lines. The script is organized into approximately 12 vertical columns, each containing several lines of text. The characters are dark and fluid, typical of traditional Mongolian calligraphy. The paper shows signs of age, including some staining and wear along the edges.

見其山多見其山之多

見

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多

見其山多見其山之多



清江先生

清江先生

清江先生

清江先生

清江先生

清江先生